

# "ヒアリ"ハット！

～ヒアリかなと思ったら～



県民の皆様へ

## ○「ヒアリ」の生態と影響

- ・大きさ：2.5～6.5mm
- ・現在、**静岡県ではまだ発見はされていません**が、刺されると、アルカロイド系の強い毒による痛みやかゆみ、発熱、じんましん、激しい動悸等の症状が引き起こされる。アレルギー性のショックでこん睡状態に陥ることもある。

※見分け方は次ページの「ヒアリの簡易的な見分け方（暫定版）」をご覧ください。

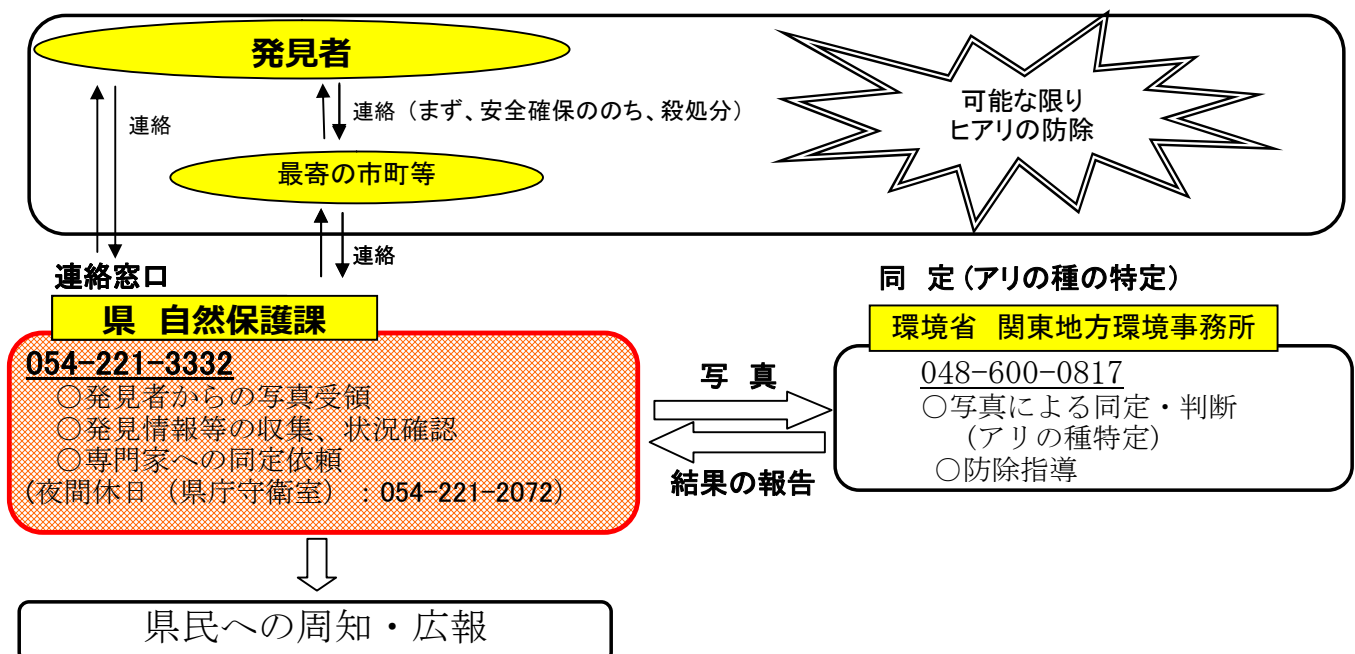
## ○「ヒアリ」かなと思うアリを見つけたら・・・

刺されないように注意しながら次の手順で対応しましょう。

- STEP 1. 刺されないよう素手では触らない。
- STEP 2. 熱湯か市販のスプレー式殺虫剤で殺虫する。
- STEP 3. 最寄の市町または県自然保護課に連絡する。
- STEP 4. 写真を撮る（専門家による判別用）。

もし、刺されてしまったら安静にし、急激な症状がある場合はすぐに病院へ行きましょう。

## （発見後の流れ）



## ヒアリの簡易的な見分け方（暫定版）

2017.7. 環境省外来生物対策室

※ 今後必要に応じて更新していきます。

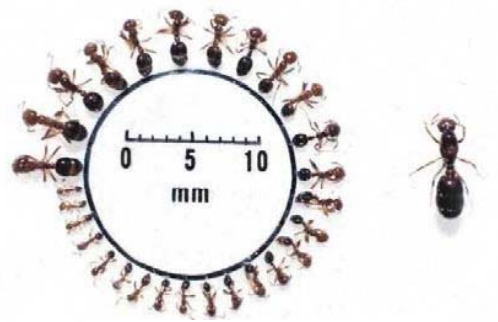
ヒアリかどうかは、専門家が顕微鏡を使って観察しなければ、判断できませんが、  
ヒアリの疑いの有無は、下記の要領でおおよそわかります。

### 肉眼で

- ・ 赤っぽくツヤツヤしている。腹部の色は暗め
- ・ 働きアリの大きさが2.5mm-6.5mmと連続的な変異がある
- ・ 行列を作り餌に集まる

### ヒアリでないもの

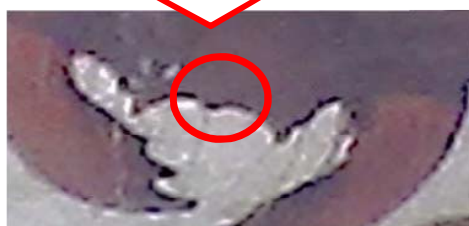
- ・ 黒いアリ（ただし海外には黒いヒアリ類もあります）
- ・ 2.5mm以下の小さいアリ
- ・ 赤っぽいアリでも大きさに連続的な変異のないもの



S.D. Porter, USDA-ARS

### 顕微鏡で

頭楯前縁中央に小突起  
（口もとにでっぱり）  
アカカミアリは頭楯前縁中央に  
小突起はない。他の特徴は同じ。



触角は10節  
先端の2つが大きい



腹柄が2節  
（背中に2つのコブ）



あくまで簡易なものです。  
正確な同定は専門機関に  
お願いすることとなります。

## 写真の撮り方

「ヒアリ」かどうか確認するための写真を撮るときは、次のことに注意しましょう。

- ア. 接写で大きく。ピンボケしないように注意する。
- イ. 寸法がわかるもの（ものさし）を一緒に入れる。
- ウ. 横から撮影し、角度を変えて何枚か撮影する。

よい写真の例 →

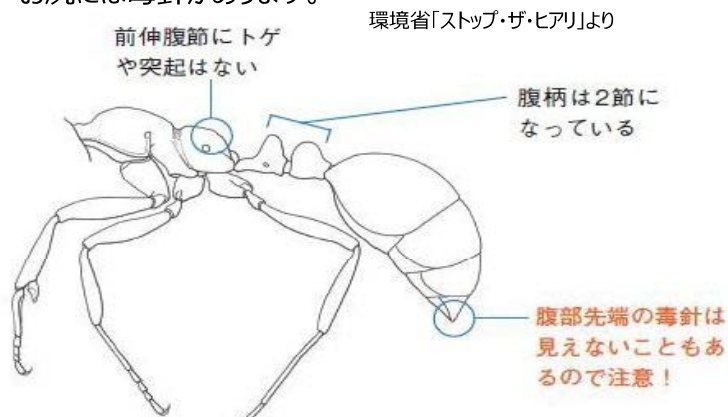
(ただし、写真のアリは、ヒアリではありません。)



## ヒアリの特徴

体の大きさは 2.5～6.5mm。色は赤茶色。

お尻には毒針があります。



なお、詳細は「ストップ・ザ・ヒアリ（環境省）」を参照してください。

([https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/files/r\\_fireant.pdf](https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/files/r_fireant.pdf))

## 「ヒアリ」に関する詳細な問い合わせ窓口

静岡県 暮らし・環境部 環境局 自然保護課 鳥獣捕獲管理班

住所: 〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6

電話: 054-221-3332

メールアドレス: shizenhogo@pref.shizuoka.lg.jp

環境省 関東地方環境事務所 野生生物課

(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、静岡県の1都9県を管轄)

住所: 〒330-6018 さいたま市中央区新都心 11-2

電話: 048-600-0817

※上記以外の方は、お住まいの市町村または管轄の環境省地方環境事務所へお問い合わせください。